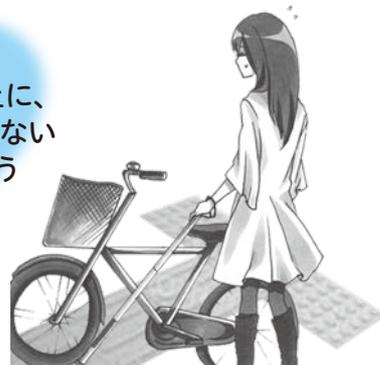


# ユニバーサルデザイン

点字ブロックの上に、  
自転車などを置かない  
ようにしましょう



## あなたのやさしさと思いやりが福祉のまちをつくります

誰もが安心して暮らせるまちをつくるためには、生活する一人ひとりがやさしさや思いやりを持つことが大切です。

今回は、心の触れ合う福祉のまちを目指すための「こころのユニバーサルデザイン運動」をご紹介します。

☎保健福祉総務課 ☎(632)2919



## しさを育むさまざまなマーク

※本市では、介護マークとマタニティマークを配布しています。

### 視覚障がい者のための国際シンボルマーク

視覚障がい  
を示す世界  
共通のシン  
ボルマーク



### ほじょ犬マーク

身体障がい者  
補助犬（盲導  
犬・介助犬・  
聴導犬）同伴  
の啓発マーク



### 聴覚障がい者シンボルマーク（国際マーク）

聴覚障がい  
を示す世界  
共通のシン  
ボルマーク



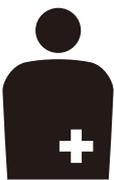
### 介護マーク

介護中であ  
ることを周  
囲に理解し  
てもらうた  
めのマーク



### オストメイトマーク

人工肛門・膀胱（ス  
トーマ）を使用し  
ている人（オスト  
メイト）のための  
設備があることを  
表すマーク



### ハートプラスマーク

身体内部（心  
臓・免疫機能  
など）に障が  
いのある人を  
表すマーク



### ベビーカーマーク

ベビーカー  
が利用できる  
施設など  
であることを  
表示する  
マーク



### マタニティマーク

妊産婦であることを表す  
マーク



## こころのユニバーサルデザイン運動とは

「ユニバーサルデザイン」とは、「すべての人のためのデザイン」を意味し、文化・言語・年齢・性別などの差異・障がいの有無・能力にかかわらず、できるだけ多くの人が利用しやすいように製品や、施設、環境などをデザインする考え方です。

誰もが暮らしやすいまちをつくるためには、スロープや点字ブロックなどの施設の整備だけでなく、施設を利用する一人ひとりの理解や思いやりが大切です。

そこで、本市では、「すべての人にやさしい」というユニバーサルデザインの考え方を、一人ひとりの意識の中にも取り入れるため、やさしさや思いやりの気持ちを一層育み広めていく「こころのユニバーサルデザイン運動」を推進しています。

## やさしさや思いやりを持ち行動することが大切

障がいのある人や体の不自由な人が外出する場合

※1 ヘルプマーク 外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人などが、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくするよう作成されたマークです。困っているようであれば「どうしましたか」と、声を掛けるなど、思いやりのある行動をお願いします。ヘルプマークは障がい福祉課（市役所1階）や保健所、各区、団などで配付しています。詳しくは、市☎をご覧ください。

# 日常の中での思いやりを大切にしよう

## こころの ユニバ

妊産婦や高齢者に  
席を譲りましょう



困っている人がいた時は  
声を掛け、手助けをしましょう  
自分ひとりでの手助けが  
難しいときには近くの人と  
協力して手助けをしましょう



特集  
⑤

### 思いやりを大切に

#### 適正に利用しよう

車椅子を使っている人や、体の不自由な人のための駐車スペースは、適正に利用しましょう。



#### 思いやりのある行動を

障がいのある人などが持っているヘルプマークやヘルプカードを見かけたら、声かけや適切な支援を行うなど、思いやりのある行動をお願いします。



▲ヘルプマーク (※1)



▲ヘルプカード (※2)

### 知ることから始めよう やさ

#### 障がい者のための 国際シンボルマーク

障がい者が容易に利用できる建物・施設であることを明確に表すためのマーク



#### 身体障がい者標識 (障がい者マーク)

肢体不自由であることを理由に免許に条件を付された人が運転する車に表示するマーク



#### 耳マーク

聞こえが不自由なことを表す国内で使用されているマーク



#### 聴覚障がい者標識 (聴覚障がい者マーク)

聴覚障がい者の人が運転する車に表示が義務づけられたマーク



ページ番号を市HPのトップページで入力してみよう。  
関連ページが見られるよ。

多くの不便があります。その不便を取り除くためには、次のような皆さんの配慮やサポートが必要です。▽公共交通などで妊産婦や高齢者に席を譲る。▽困っている人がいた時は声を掛け手助けをする。また、自分ひとりでの手助けが難しいときには、近くの人と協力して手助けをする。▽点字ブロックの上に、自転車などの物を置かない。

**やさしさを育む  
さまざまなマーク**

誰もが安心して暮らせるよう、周囲の人にサポートをお願いするために考えられた、さまざまなマークがあります(12・13ページ中の図のマーク)。

妊娠している人、聴覚障がい者、身体内部に障がいのある人など、見た目では分かりにくい人もいます。私たちが、マークの意味を知り、ちょっとしたやさしさや思いやりを持って行動すれば、きっと笑顔になる人が増え、「誰もが生活しやすいまち」となるでしょう。

※2 ヘルプカード 障がいのある人などが、必要に応じて自分の情報を周囲の人に伝え、適切な支援が得られるよう障がいの特性や支援内容を記載するカードです。カードを提示されたら、記載内容に沿った支援や配慮をお願いします。ヘルプカードは障がい福祉課や保健所、各区、区などで配付しています。詳しくは、市HPをご覧ください。